

地域おこし協力隊通信

協力隊員の活動を紹介します！

大坪の/

しもつけイトコミーつけた！

「住んでも住まなくても都」だった下野市

下野市に住み始めてすぐ、出会った地域の方々から「下野市には何も無いよ」と言われました。

たしかに、東京のように高いビルも、好きなブランドの洋服屋さんありません。仕事帰りにフラッと飲みに行って、サクッと帰れる環境でもない。夜道を照らす灯りが少なく、夜道の運転、帰道は、今でも少し怖い。

でも、昼間はとにかく空が広い！洋服も、インターネットで買うことができ、自宅にすぐに届く（移住する前は、配達に少し時間がかかるのかと思っていました）し、家で飲むから安上がり！

「何もないよ」と言われると、以前に住んでいた東京と比べてしまいそうになりますが、私にできることは、良いと感じた下野市の良さを、いつまでも良いと感じ続け、伝え続けることです。

最近、イベントを通して下野市を初めて訪れた方、インターネットで呼びかけて来てくれた観光客、東京から遊びに来た友人、私の様子を見に来た家族を連れて、市内をサイクリングし、下野市の良さを、自信をもって紹介しています。帰るときには、みんな口を揃えて「楽しかった、癒された！また来るね」と言ってくれます。初めて下野市に遊びに来てくれた人たちは、市内でゆっくりとした時間を過ごし、歴史を感じ、公園や田んぼのある風景にデトックスされて帰っていきます。

観光地ではないので出かける場所は少ないかもしれないけれど、「住んでも都」、「住まなくても都」な下野市なのです。

11月の天平の丘公園イベントスケジュール

3日(日)	Mamamag 感謝祭マルシェ (夜明け前側広場) ※同日 天平の芋煮会
9日(土)	絵本ピクニック Vol 3
23日(土)・25日(月)	Misaki ママのInstagram セミナー (初級編)

宇佐美の協力隊レポート



灯明の明かり

9月14日に開催されたエゴマ灯明の会を見に行きました。

当日は、下野市観光協会と観光協定を結んでいる埼玉県日高市の巾着田曼珠沙華まつりに出展し、下野市のPRを行っていたため、開催時間内に戻って来ることができるか心配でしたが、さすが交通の便が自慢の下野市、埼玉県との行き来も思ったほど時間はかかりませんでした。

市内に着いた頃には辺りはもう暗く、「会場はどんな感じなのだろう？」とワクワクしながら向かいました。

会場の下野薬師寺跡では、地面に星空が広がっていました。その中でゆらゆらと揺れる灯明の火が、とてもきれいで幻想的でした。大正琴の演奏もあり、居心地の良い空間でした。

天平の丘公園で開催された「しもつけ燈桜会」とは一味違ったイベントで、来年はぜひ点灯から参加したいと思いました。

■地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化等の進行する地域に都市部の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行うことで地域の活性化を図る制度です。

下野市でのイトコマ



右から私(アキコ)、双子の妹(ユキコ)、下野市出身の妹の親友

下野市には縁もゆかりもないはずでしたが、実は双子の妹の17年来の親友が下野市出身でした！そして、引っ越し先の近所にその親友の実家があることが分かりました。今では家族ぐるみで仲良くさせてもらっています。

偶然ですが、こんなところに下野市とのつながりがあったなんて。やっぱり私は下野市に縁があったのかもしれませんが(笑)